

# LRT (新型路面電車) ニュース

No.1

発行：京都市都市計画局交通政策室

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

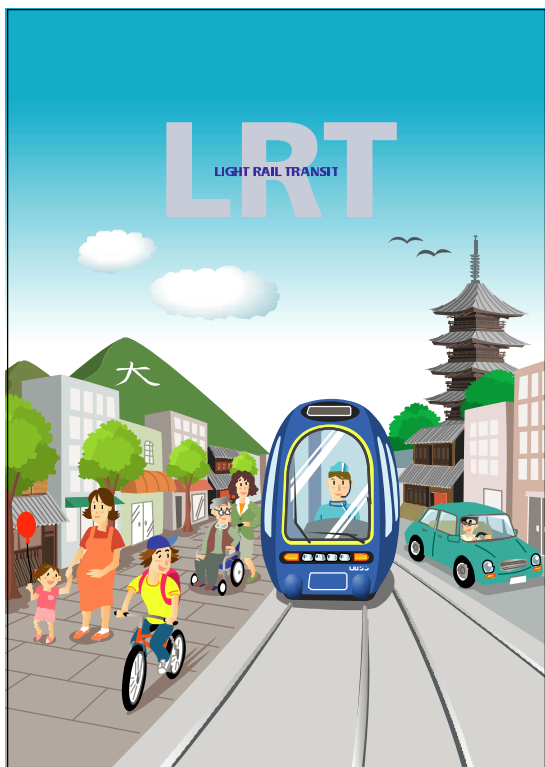
TEL:075-222-3483 FAX:075-222-3472

京都市印刷物 第184155号



シンポジウム

## 「今出川通の交通まちづくりとLRT」 を開催！！



LRTとは？

従来の市電とは異なり、バリアフリーに優れ、環境にやさしく、専用化された軌道を持ち、時間に正確などの特徴がある全く新しい路面電車

去る6月3日(土)、西陣織会館において、シンポジウム「今出川通の交通まちづくりとLRT」を開催しました。

当日は350名を超える方にご来場いただき、LRT(新型路面電車)に関する効果や課題などについて、活発な議論が繰り広げられました。

今後、京都市では、さらに市民の皆様とともに、LRTについての議論や検討を重ねるため、意見交換会の開催や交通社会実験の実施に向けた検討を行っていきます。

### 京都市からの報告～新しい公共交通システム検討結果

～『歩くまち・京都』の実現に向け、  
市民の皆様と一緒に考えましょう～

まず、京都市から、これまでのLRTに関する検討の結果、地域に活力をもたらすなど可能性がある一方、自動車交通に与える影響など多くの課題があることや、検討を深めるためのモデル路線として「今出川線」を選定したことを報告したうえで、今後もLRTの良い面と課題を示しながら、市民の皆様と一緒に考えていく方針であることを説明しました。



### 基調講演～交通まちづくりとLRT 先進事例に学ぶまちづくり



～環境を考え、道路・交通の主役を自動車から公共交通へ、  
住んで楽しいまちの実現を～

次に、同志社大学商学部の青木真美教授から、「交通まちづくりとLRT～先進事例に学ぶまちづくり」をテーマに、これからは環境を主体に考え、自動車や道路の使い方を考え直す必要があること、LRTなど公共交通を活用することで、住んで楽しいまちづくりが実現可能であることなどを、国内外の事例紹介も交えながらご講演頂きました。



## パネルディスカッション



続いて行われたパネルディスカッションでは、市民や、鉄道事業者の方々に京都市を加えた5名のパネリストが、今出川通の将来の交通のあり方や、LRT導入に向けての期待や課題などについて、活発な議論を交わしました。当日の主なご意見は以下の通りです。

今出川通にこのまま自動車が増え続けるのは心配。将来の上京のまちづくりの1つの手段としてLRTを考えることは有効なこともかもしれない。その際、メリットだけでなくデメリットも明らかにしながら、きめ細かく意見交換を行う必要がある。

環境や観光の観点からみて、LRTは「まちの活性化」など地域にメリットをもたらすことも事実であり、単に反対するのではなく、高齢者や環境にやさしいLRTの良いところも理解し、将来健康で幸せな生活が送れるための1つの手段としてLRTを考える必要もある。

LRTが今出川に導入されることによって自動車の交通量は減り、沿道の生活環境の改善が期待できる。道路幅員の問題等、課題もあるが、狭い通りに路面電車を走らせている事例もあり、知恵を出せば実現は可能ではないか。

今出川線がもし実現するのなら、公共交通ネットワーク強化や観光の面で、大変意義がある。実現にはクリアすべき課題も多いが、鉄道事業者の持つノウハウを活用しながら協力していきたい。

交通政策の基本理念である「歩くまち・京都」の実現のための1施策として、LRT導入を検討している。今後、沿線住民の皆様をはじめ多くの方々の幅広い意見を伺っていくとともに、LRT導入に当たったの効果や課題を客観的に判断するため、交通社会実験の実施を検討したい。



## 会場とのディスカッション

(皆様からいただいたご意見は、後日ホームページにまとめてお答えする予定です)

最後に、会場から寄せられた数多くの質問の一部が紹介され、パネリストがその質問に答えました。



Q. 自動車の一方通行などの規制も必要では。

A. 大きな道路を一方通行化することや、通過交通を細街路に入れないなど、自動車の抑制を促す施策がもっと必要であると考えている。

Q. まちづくりとLRTはどう結びつくと考えているか。

A. LRTを通せば上京区が発展するという単純な話ではない。地元の住民から地域を盛り上げていくことが大切で、そのためには行政による後押しがほしい。

Q. 公共交通を便利にすれば、自動車は減少すると思うか。

A. 公共交通が魅力を発揮するためには、車に乗る人を減らす、路上駐車を減らすなど抜本的な改善を図ることが必要。一人一人の意識を変えていかなければならない。

Q. 京福電鉄は今出川線に乗り入れることも考えているのか。

A. 希望は持っているが、財源や、設備などのハードの問題を含め課題が多い。運賃については、例えば乗継割引など利用しやすいものにする必要がある。

Q. 今後、京都市としてはどう動いていくつもりなのか。

A. 例えば学区など小さな単位での意見交換会を開催したい。荷捌きの問題など具体的な事例を基に、幅広い議論をしていきたい。また、交通社会実験の実施も検討したい。

京都市交通政策室のホームページで、LRTに関するご意見を募集しています。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/lrt/>